

図書館新聞



平成 26 年 9 月 1 日
松橋中学校 図書館

夏休みが終わり、皆さんにぎやかな声がもどってきましたね。

松中図書館でも、みんなの笑顔に会えるのが楽しみです。

☆★新斤☆千リ★情☆幸良★☆

いとみち 二の糸・三の糸

越谷 オサム：著

相馬いと 16 歳。人見知りを直すために始めたアルバイトは、なんと“メイドカフェ”。津軽なまりでドジばかりのいとが高校 2 年生になりました。相変わらず泣き虫で人見知り。

アルバイト先では、先輩たちから避けられ、三味線コンサートもマンネリぎみで、おまけに親友とも大ゲンカ…どうなる！いと！！ 三の糸では、高校 3 年生になったいとの、恋と進路でなやむ青春 100% の完結編。



ぐつとくる文学のセリフ 101

あさのあつこ：監修

どんな物語にも心に残る名場面や言葉があるはず。

「バッテリー」でおなじみのあさのあつこさんは、小学生のころがまんが家を目指していたそうです。読書っていいなあと思います。読んでいる中で、ハッと気づかされることがあります。それがきっかけで自分の世界が少し広がります。この本をきっかけにして小説を読んでみるのもいいと思います。⇒まんが編、映画編もあります。

津軽なまりのいとちゃんが、
かわいいです。糸ちゃんの成長
を見守っていきましょう。

オーダーは探偵に～謎解き薫る喫茶店～

近江 泉美：著

女子大生、美久が心と迷い込んだ場所。そこは、少し変わったマスターと美形な青年がいる喫茶店「エメラルド」だった。

美久がうっかりときめきを感じたその青年は、なんと高校生で、しかも口が悪くて意地悪な探偵だった。その探偵となぜかコンビを組むことになった美久の騒がしい日々が始まります。



本屋さんには、探偵もの
があふれていますが、その
中でもこのシリーズは
楽しめる一冊です。



「キミが、たつけ。」
「ヨリ。
勝ち負けが必要。
けれど
勝ち負けだけ
己の人生の良し悪しを
きっと何かを
見失している時など
もとも大切な
何かを。

「勝つ」と「負け」
「ナカムラミツル」

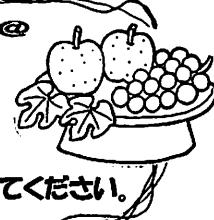
@@@図書館よりお知らせ@@@

◎夏休みに貸し出した本は、今週中に返却してください。

◎9月の貸し出しは、9月3日(水)から始めます。

(ただし、夏休みに借いた本を返却した人に限ります。)

◎借いた本を失くしたり、破損などしたときは、必ず担任へ知らせてください。



「ななつ星」物語

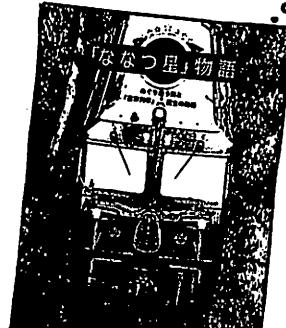
一志治夫：著

皆さんは九州を走る超豪華列車「ななつ星」を知っていますか？

デザイナーの水戸岡鋭治さんと JR 九州社長・唐池恒二さんがめざした日本発のクルーズ列車の名前です。

ラウンジカーとダイニングカーを含めた 7両編成の列車は定員わずか 30 人。その豪華さからは想像もできないほど、開発には苦労が伴ったそうです。

これは、「ななつ星」にかけた人々の熱い思いと夢を描いたノンフィクションです。

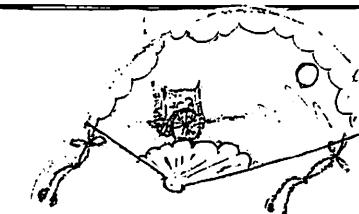


紫の結び 一～三巻

荻原規子：訳

死んだ母に似ているという父の新しい妃に対する思い。山里で源氏はその妃の面影を持つ少女を垣間見ます。紫の上との出会いでした。

一「源氏物語」は知っていますか？タイトルは知っていても読んだことがある人は少ないでしょう。源氏物語は読んでみたいけど古典は苦手という人におすすめです。



こんな豪華な列車が
一度乗ってみたいと思
いませんか？